

# 群馬県立県民健康科学大学 看護学部 3つのポリシー

## ● アドミッションポリシー

---

群馬県立県民健康科学大学では、大学の理念・目的を達成するために、次のような学生を求めています。

1. 豊かな人間性を培い、人間への深い関心と理解を示す人
2. 自立を目指し、自ら学ぶ姿勢を持つ人
3. 他者との関わりを通して成長できる人
4. 保健医療専門職を目指す者として、専門的知識や技術の獲得に意欲を示す人

## <看護学部>

1. 人間と環境に興味を持ち、人々の健康維持、増進に役立つことを希望する人
2. 看護学への探求心を持ち、社会貢献への意欲のある人

## ● カリキュラムポリシー

---

本学のカリキュラムは、対象の人間としての尊厳を維持しながら、科学的根拠に基づいた実践を提供するために必要な基礎的能力の修得を支える「教養教育科目」を置く。

同時に、保健医療専門職としての専門性発揮への準備を整えるために「専門基礎科目」、各学部独自の専門的知識・技術の修得を目指す「専門科目」、保健医療専門職として2学部共通して必要となる知識・技術・態度の修得を目指す「保健医療専門職共通専門科目」を置く。これらの学科目が、学年進行に伴い系統的に学習できるように編成する。

以下に看護学部のカリキュラムポリシーを示す。

1. 専門職業人としての高度な知識と技術を修得する前段階として、人間としてより豊かに成長・発達する基盤を獲得することを重視する科目として、教養教育科目4学科目群、34科目を配置する。
2. 看護学視点から人間の健康と環境及び生涯発達を理解するための基盤並びに看護専門職者として対象と相互行為を展開する基盤を育成するための科目として、専門基礎科目3学科目群を配置する。
3. 看護職者の実践を支える専門的知識・技術を学ぶ科目として、これまで体系化されてきた看護学の専門領域を4領域に統合再編成し、専門科目4学科目群を配置する。
4. 看護学部、診療放射線学部の各専門性を超え保健医療専門職として求められる知識・技術・態度を学ぶための科目として、保健医療専門職共通専門科目を配置する。

## ● ディプロマポリシー

---

看護学部の教育目的は、本学の存在する群馬県の県民をはじめ、様々な地域に生活する多様な人々の生涯にわたる健康水準の維持、向上に貢献する方法を学び、豊かな人間性を培い、変動する社会の中で個々の役割を担いながら、自然と共生し独自の文化を育み生活する人間に対する理解と関心を深めることである。また、科学的根拠に裏付けられた専門的知識・技術並びに高い倫理的判断力を身につけ、常に対象の人間としての尊厳を維持しながら、より質の高い看護を提供する保健医療専門職を養成することである。

卒業に際して、カリキュラムポリシーが定める特性を学生が身につけたかを卒業要件及び取得単位で判定し、学位を授与する。

以下に看護学部学生が卒業までに身につけるべき内容を示す。

1. 群馬県内をはじめ、様々な地域における保健医療チームの一員として専門性を発揮し、責務を全うするため、以下の基礎的能力を身につける。
  - (1) 対象の個別性に応じて看護技術を提供する能力
  - (2) あらゆる職種において発揮可能な初歩的管理能力
  - (3) 対象の様々な健康状態に精通し、常にその維持増進を図る能力
  - (4) あらゆる職域において心理・教育的支援を提供する能力
  - (5) 対象の健康状態の正常・異常を査定する能力
2. 対象の人間としての尊厳を維持しながら、科学的根拠に基づく看護を展開するための基礎的能力を持つ。
3. 人間の生涯とその生活及び健康状態における普遍性と多様性に強い関心と深い理解を示す。
4. 群馬県民をはじめ様々な地域に生活する人々の健康維持・促進に対する強い使命感と高い倫理性を持つ。
5. 人種、民族、年齢、性別等の異なるあらゆる対象の福祉に貢献する看護職者としての責務を自覚し、行動する。
6. 科学及び学術の価値を確信し、研究成果を活用した看護に意義を見いだす。
7. 看護職者として自律的に発達し、将来的には、看護実践に採用可能な研究成果を産出し、看護における技術革新を促進するとともに、わが国の最高水準を満たし、群馬県のみならず国際的にも普及する新たな看護実践の創造開発に携わることができる能力を持つ。